

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年1月21日 (2016.1.21)

【公開番号】特開2014-185132(P2014-185132A)

【公開日】平成26年10月2日 (2014.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2014-054

【出願番号】特願2013-70954(P2013-70954)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/192

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 29/00

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 47/06

A 6 1 K 47/08

A 6 1 K 47/12

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月26日 (2015.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次の成分 (A)、(B) 及び (C) :

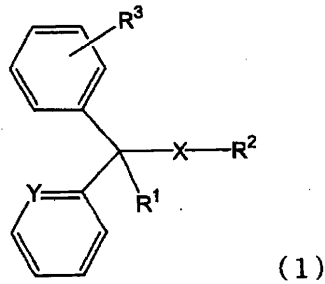
(A) ロキソプロフェン又はその塩

(B) テルペン類

(C) 次の成分 (C - 1) 及び (C - 2) からなる群より選ばれる 1 種以上 :

(C - 1) 下記一般式 (1)

【化 1】



〔式(1)中、Xは単結合又は酸素原子を示し、Yはメチン基又は窒素原子を示し、 R^1 は水素原子、水酸基又はアルキル基を示し、 R^2 は置換基を有してもよい環状アミノ基、又は置換基を有してもよいアミノアルキル基を示し、 R^3 は水素原子又はハロゲン原子を示す。〕

で表される化合物又はその塩

(C-2)多価アルコール

を含有する医薬組成物。

【請求項2】

成分(B)が、イソボルネオール、イロン、オシメン、カルベオール、カルボタナセトン、カルボメントン、カルボン、カレン、カロソ、カンフェン、カンフル、ゲラニオール、サビネン、サフラナール、シクロシトラール、シトラール、シトロネラール、シトロネン酸、シトロネロール、シネオール、シメン、シルベストレン、チモール、イソツジオール、ツジオン、テルピネオール、テルピネン、テルピノレン、トリシクレン、ネロール、ピネン、ピノカンフェオール、ピノール、ペリリテノン、フェランドラール、フェランドレン、フェンチエン、フェンチルアルコール、ペリリルアルコール、ペリリルアルデヒド、ボルネオール、ミルセン、メントール、メントン、ヨノール、ヨノン、リナロール及びリモネンよりなる群から選ばれる1種以上である請求項1記載の医薬組成物。

【請求項3】

成分(C)が、クロルフェニラミン及びその塩、並びにジフェンヒドラミン及びその塩よりなる群から選ばれる1種以上である請求項1又は2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

成分(C)が、グリセリン、1,3-ブチレングリコール、ソルビトール、マンニトール、ジブロピレングリコール及びポリビニルアルコールよりなる群から選ばれる1種以上である請求項1又は2に記載の医薬組成物。

【請求項5】

半固形又は液状製剤である請求項1～4のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項6】

リニメント剤、ローション剤、外用エアゾール剤、ポンプスプレー剤、軟膏剤、クリーム剤、ゲル剤、テープ剤又はパップ剤である請求項1～5のいずれか1項記載の医薬組成物。